

2022年2月期・第2四半期 決算説明資料

2021年10月19日



株式会社竹内製作所
(証券コード:6432)

- ▶ 2022年2月期・連結業績 上期実績
- ▶ 2022年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ トピックス
 - 生産能力の増強（新工場建設）
 - サステナブル経営の推進
- ▶ ご参考資料

（1）旺盛な製品需要により、販売台数は米国、欧州ともに大きく増加

- 北米の販売台数は +35.9%（1Q: +12.3%、2Q: +60.4%、対前年同期比）
- 欧州の販売台数は +35.9%（1Q: +35.8%、2Q: +36.0%、対前年同期比）
- トータル販売台数は +37.0%（1Q: +28.0%、2Q: +45.5%、対前年同期比）

（2）売上高は+39.6%、営業利益は+46.1%（連結、前年同期比）

- 欧米ともに水道管やガス管等の生活インフラ工事の活況が続く
- 特に米国では住宅関連工事が好調に推移（郊外での住宅需要が増加）
- 製造コストや運搬費の増加等の減益要因はあったが、増収効果と値上げで吸収

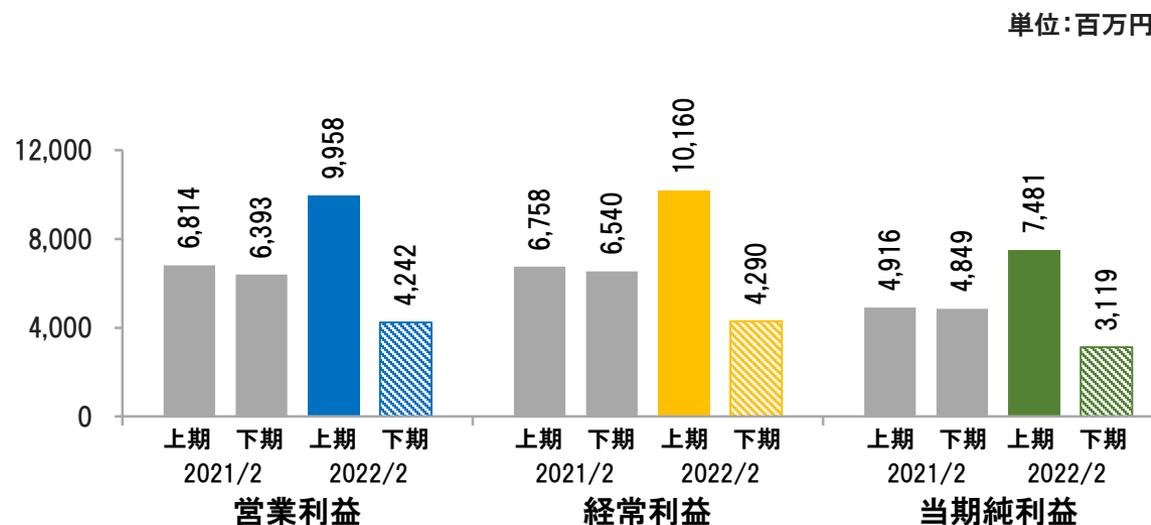
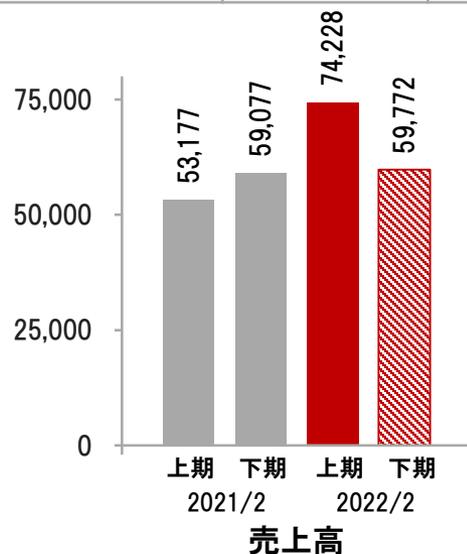
（3）過去最高の受注残高（上期末 837億円）

- 欧米ともに予想を大きく上回る受注状況（米国が特に強い）
- 受注残には先行受注が含まれている（前倒しで注文が入るほど製品需要が強い）

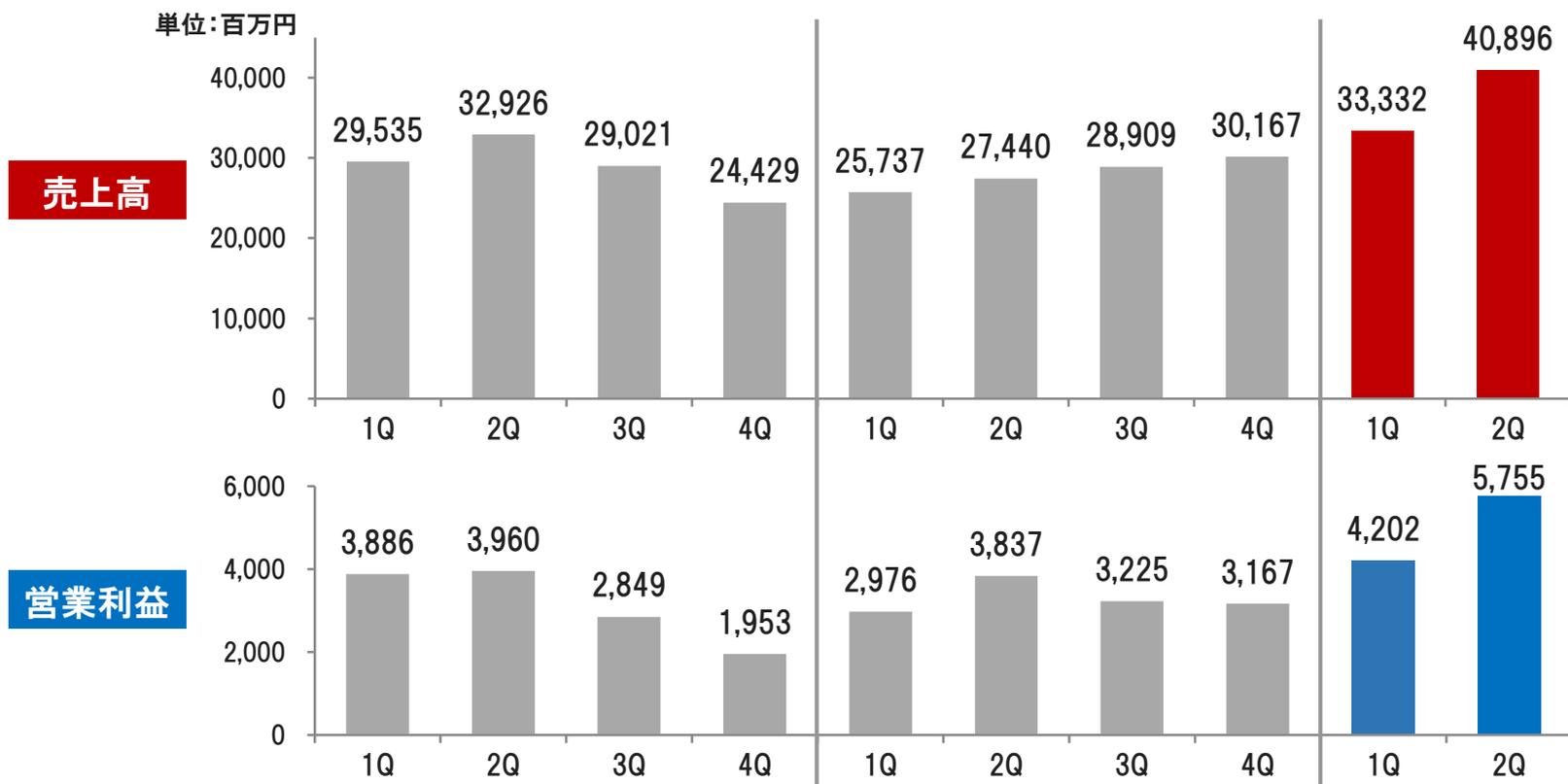
連結業績ハイライト (2022年2月期・上期実績)



単位:百万円	2021年2月期		2022年2月期				上期 期初予想	対期初予想 増減額
	上期実績	売上比率	上期実績	売上比率	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
■ 売上高	53,177	—	74,228	—	+21,050	+39.6%	68,700	+5,528
■ 営業利益	6,814	12.8%	9,958	13.4%	+3,143	+46.1%	7,600	+2,358
■ 経常利益	6,758	12.7%	10,160	13.7%	+3,402	+50.3%	7,650	+2,510
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	4,916	9.2%	7,481	10.1%	+2,564	+52.2%	5,600	+1,881
設備投資額	833	1.6%	620	0.8%	△212	△25.5%	517	+103
減価償却費	757	1.4%	745	1.0%	△12	△1.6%	737	+8
受注高	41,841	—	113,137	—	+71,295	+170.4%	***	—
受注残高	20,197	—	83,788	—	+63,591	+314.9%	***	—



四半期毎の売上高・営業利益

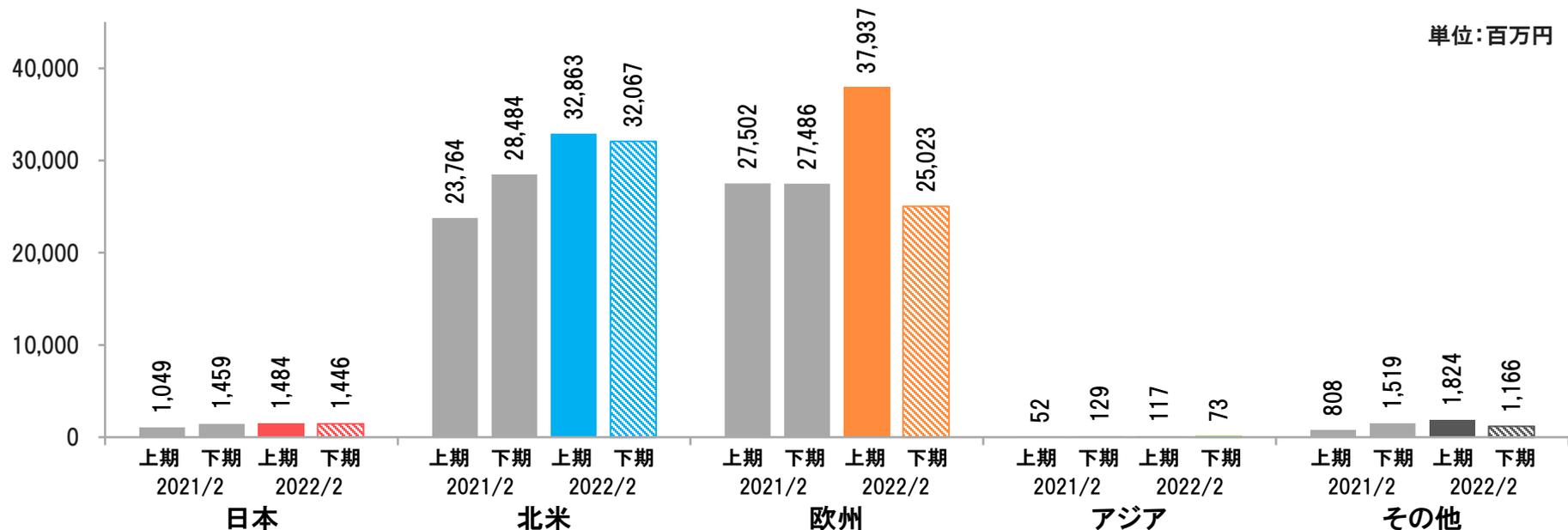


	2020年2月期				2021年2月期				2022年2月期	
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
円/米ドル	111.19	108.58	107.80	109.36	108.44	106.90	105.19	104.01	108.89	109.96
円/英ポンド	145.48	135.73	133.02	142.52	135.64	133.65	136.89	140.48	151.26	153.60
円/ユーロ	124.85	122.04	118.80	121.14	120.10	120.70	123.89	125.77	130.43	131.70
円/人民元	16.43	16.00	15.26	15.57	15.50	15.10	15.28	15.76	16.45	17.07

地域別売上高 (2022年2月期・上期実績)



単位:百万円	2021年2月期		2022年2月期				上期 期初予想	対期初予想 増減額
	上期実績	構成比	上期実績	構成比	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
日本	1,049	2.0%	1,484	2.0%	+435	+41.5%	1,480	+4
北米	23,764	44.7%	32,863	44.3%	+9,099	+38.3%	33,000	△136
欧州	27,502	51.7%	37,937	51.1%	+10,434	+37.9%	32,580	+5,357
アジア	52	0.1%	117	0.2%	+65	+124.9%	150	△32
その他	808	1.5%	1,824	2.5%	+1,015	+125.6%	1,490	+334
売上高合計	53,177	100.0%	74,228	100.0%	+21,050	+39.6%	68,700	+5,528
海外売上高	52,128	98.0%	72,743	98.0%	+20,615	+39.5%	67,220	+5,523



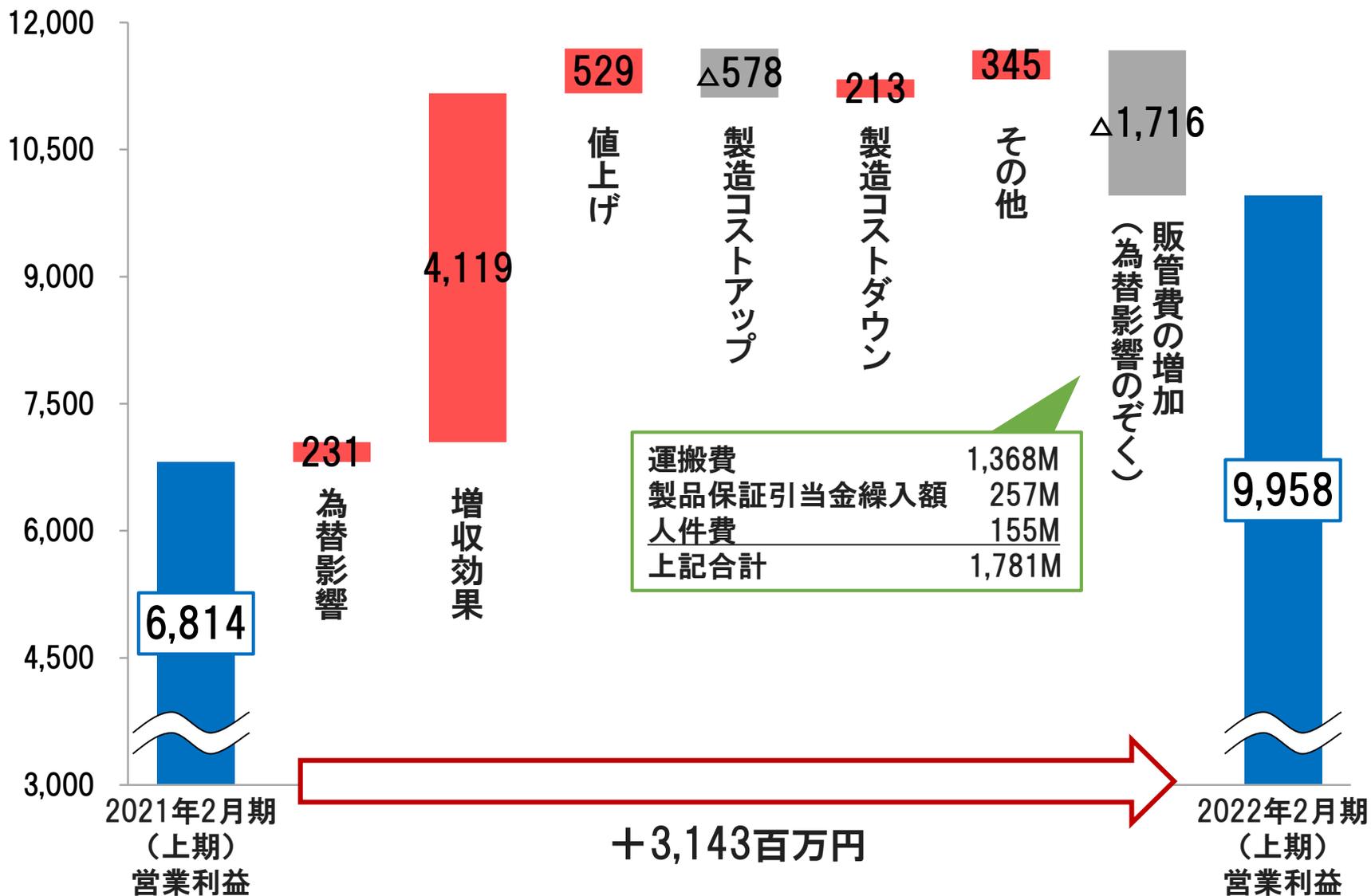
所在地別セグメント情報 (2022年2月期・上期実績)

単位:百万円	2021年2月期		2022年2月期			
	上期実績	利益率	上期実績	利益率	前年同期増減額	前年同期増減率
日本売上高	22,021	—	28,083	—	+6,062	+27.5%
セグメント利益	3,740	17.0%	7,634	27.2%	+3,894	+104.1%
米国売上高	23,765	—	32,864	—	+9,099	+38.3%
セグメント利益	2,104	8.9%	3,037	9.2%	+933	+44.4%
英国売上高	4,270	—	8,031	—	+3,760	+88.0%
セグメント利益	336	7.9%	743	9.3%	+407	+121.1%
フランス売上高	3,096	—	5,210	—	+2,114	+68.3%
セグメント利益	195	6.3%	351	6.7%	+155	+79.4%
中国売上高	24	—	38	—	+14	+60.3%
セグメント利益	△153	—%	72	188.7%	+226	—

- 日本セグメント (竹内製作所)
 - ・ 建設機械の開発、製造
 - ・ 日本国内での建設機械の販売 / 欧州及びアジア・オセアニア地域のディストリビューターへの建設機械の販売
- 米国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD.)
 - ・ 米国及びカナダでの建設機械の販売
- 英国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.)
 - ・ 英国での建設機械の販売
- フランスセグメント (TAKEUCHI FRANCE S.A.S.)
 - ・ フランスでの建設機械の販売
- 中国セグメント (竹内工程機械(青島)有限公司)
 - ・ 中国での建設機械の販売
 - ・ 中国及びアジア向けの建設機械の製造
 - ・ 日本セグメント向けの建設機械の製品(部材)の製造、調達及び販売

営業利益増減要因 (2022年2月期・上期実績)

単位: 百万円



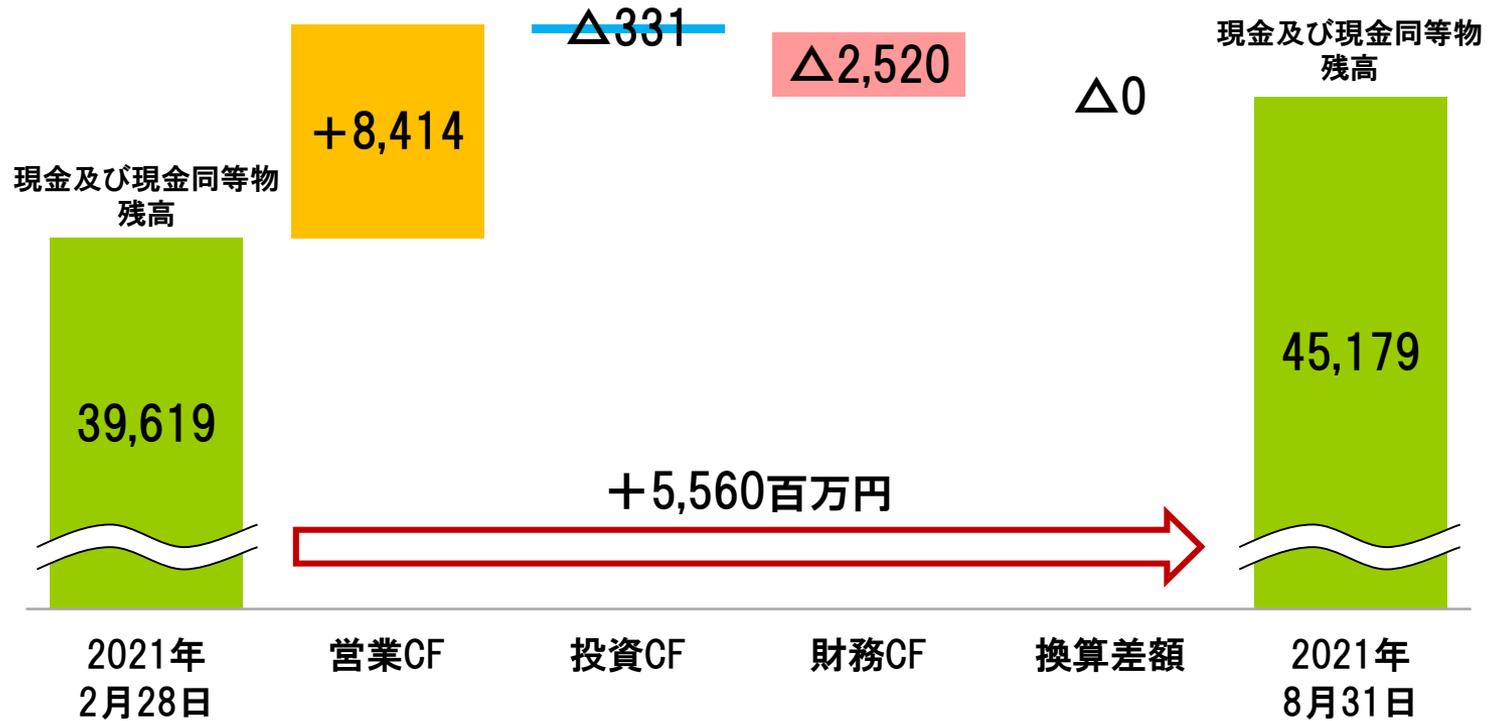
連結貸借対照表 (2021年8月31日現在)

単位:百万円

		2021年2月28日		2021年8月31日			
		残高	構成比	残高	構成比	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	40,227	34.8%	45,790	35.0%	+5,562	+13.8%
	受取手形及び売掛金	27,172	23.5%	35,086	26.8%	+7,913	+29.1%
	たな卸資産	29,326	25.4%	30,767	23.5%	+1,440	+4.9%
	その他流動資産	2,457	2.1%	2,363	1.8%	△93	△3.8%
	流動資産	99,184	85.9%	114,008	87.0%	+14,824	+14.9%
	固定資産	16,340	14.1%	16,984	13.0%	+643	+3.9%
合計		115,525	100.0%	130,992	100.0%	+15,467	+13.4%
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金	19,471	16.9%	26,065	19.9%	+6,593	+33.9%
	その他流動負債	5,670	4.9%	7,523	5.7%	+1,853	+32.7%
	流動負債	25,142	21.8%	33,589	25.6%	+8,447	+33.6%
	固定負債	474	0.4%	482	0.4%	+7	+1.6%
	負債合計	25,617	22.2%	34,071	26.0%	+8,454	+33.0%
	純資産合計	89,908	77.8%	96,920	74.0%	+7,012	+7.8%
合計		115,525	100.0%	130,992	100.0%	+15,467	+13.4%

連結キャッシュ・フロー計算書 (2022年2月期・上期実績)

単位:百万円



単位:百万円

営業キャッシュ・フロー		投資キャッシュ・フロー		財務キャッシュ・フロー	
	増減額		増減額		増減額
税金等調整前四半期純利益	10,160	有価証券の償還による収入	300	配当金の支払	△2,519
減価償却費	745	有形・固定資産の取得	△563		
たな卸資産の増加	△119	無形・固定資産の取得	△75		
運転資金の増加	△1,503				
法人税等の支払	△1,579				
その他	+710	その他	+7	その他	△1
合計	+8,414	合計	△331	合計	△2,520

▶ 2022年2月期・連結業績 上期実績

▶ 2022年2月期・連結業績 通期予想

▶ トピックス

- 生産能力の増強（新工場の建設）
- サステナブル経営の推進

▶ ご参考資料

業績予想のポイント (2022年2月期・通期予想)

(1) 通期の業績予想を修正

単位:百万円	期初予想 (2021年4月9日公表)			修正後予想 (2021年9月30日公表)				
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
日 本	1,480	1,480	2,960	1,484	1,446	2,930	△30	△1.0%
北 米	33,000	24,250	57,250	32,863	32,067	64,930	+7,680	+13.4%
欧 州	32,580	27,430	60,010	37,937	25,023	62,960	+2,950	+4.9%
ア ジ ア	150	140	290	117	73	190	△100	△34.5%
そ の 他	1,490	1,300	2,790	1,824	1,166	2,990	+200	+7.2%
売上高合計	68,700	54,600	123,300	74,228	59,772	134,000	+10,700	+8.7%
営業利益	7,600	4,500	12,100	9,958	4,242	14,200	+2,100	+17.4%
経常利益	7,650	4,550	12,200	10,160	4,290	14,450	+2,250	+18.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,600	3,300	8,900	7,481	3,119	10,600	+1,700	+19.1%

(2) 販売台数の見通し (対期初予想)

- 北米の販売台数 上期:△7.6% 下期:+42.1% 通期:+12.6%
- 欧州の販売台数 上期:+17.5% 下期:△6.4% 通期:+6.7%
- トータル販売台数 上期:+6.8% 下期:+10.5% 通期:+8.4%

（3）通期の売上高は過去最高の1,340億円となる見込み（対前期比+19.4%）

- 欧米ともに、旺盛な製品需要が下期も継続すると予想
⇒ 上期末の受注残高837億円（対前年同期比+314.9%）

（4）通期の営業利益は142億円となる見込み（対前期比+7.5%）

- 上期は大幅な増収・増益だったが、下期は前期並みの売上高&減益を予想
⇒ 製造コストの上昇、運搬費の増加を大きく見込む

（5）電子部品の供給不足

- 東南アジアでの感染拡大&ロックダウン → 半導体工場が一時的に稼働停止
- 一部機種の一部に装着する電子部品が不足 → 8月中～生産の一部を調整中
- 生産調整を要する一部機種の販売台数の減少（欧州ディストリビューター向け）

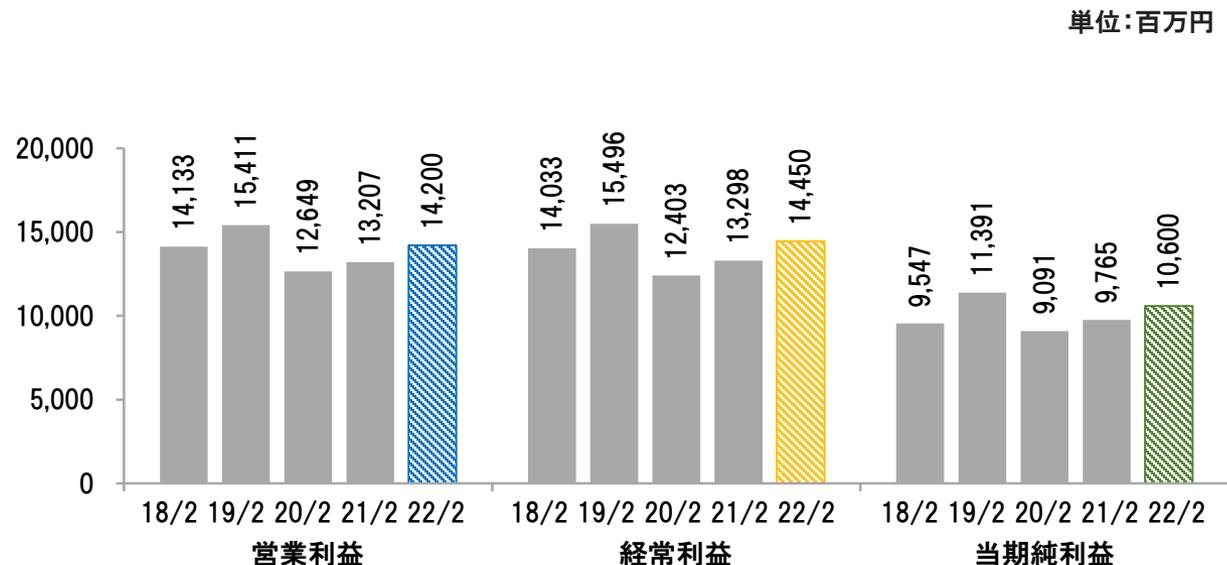
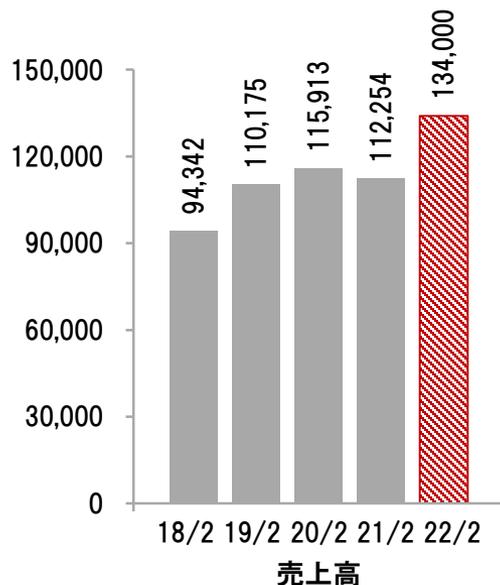
※ 通期の業績予想

12月頃を目途に、電子部品の供給は回復に向かうとの前提で作成・開示

連結業績予想ハイライト (2022年2月期・通期予想)



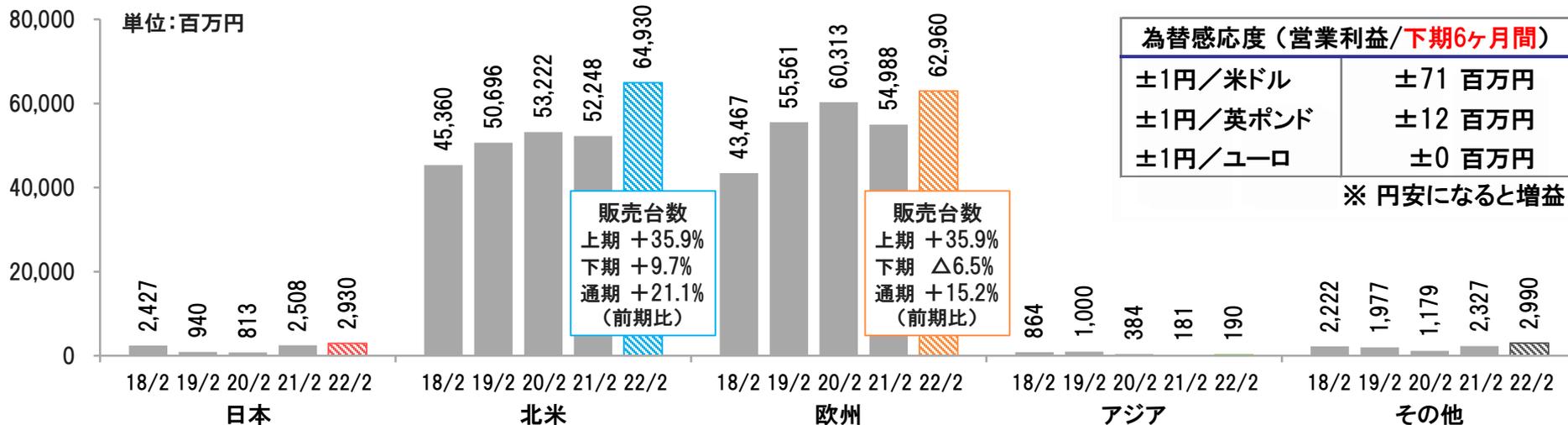
単位:百万円	2021年2月期		2022年2月期						
	通期	売上比率	上期実績	下期予想	通期予想	売上比率	増減額	増減率	
■ 売上高	112,254	—	74,228	59,772	134,000	—	+21,745	+19.4%	
■ 営業利益	13,207	11.8%	9,958	4,242	14,200	10.6%	+992	+7.5%	
■ 経常利益	13,298	11.8%	10,160	4,290	14,450	10.8%	+1,151	+8.7%	
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	9,765	8.7%	7,481	3,119	10,600	7.9%	+834	+8.5%	
設備投資額	1,734	1.5%	620	1,960	2,580	1.9%	+846	+48.8%	
減価償却費	1,676	1.5%	745	934	1,680	1.3%	+3	+0.2%	
1株純利益	204.78円	配当性向 25.9%	156.88円	—	222.29円	配当性向 26.1%	+17.51円	+8.6%	
1株配当金	53.00円		—	—	58.00円		+5.00円	+9.4%	



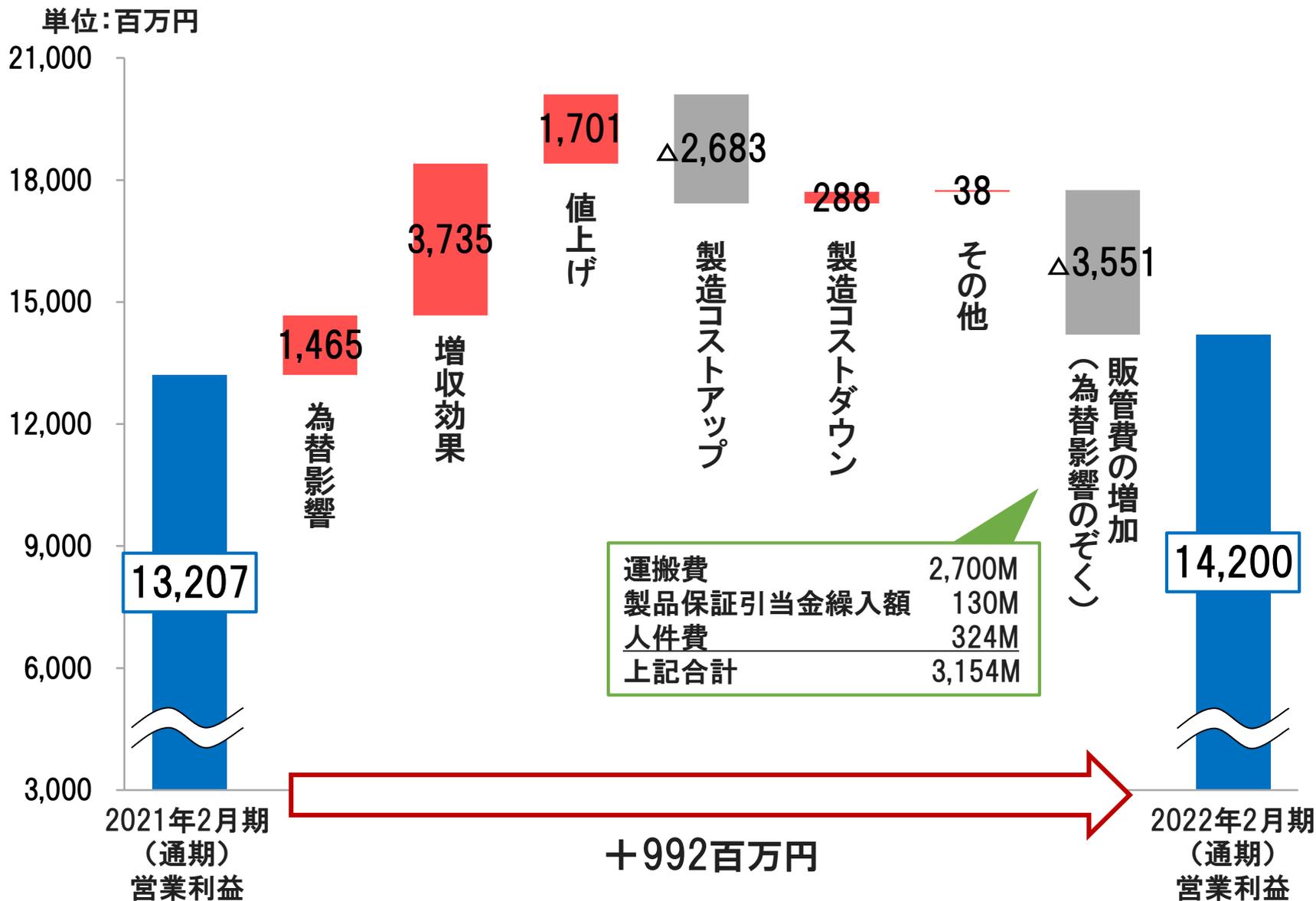
地域別売上高予想 (2022年2月期・通期予想)



単位:百万円	2021年2月期		2022年2月期						
	通期	構成比	上期実績	下期予想	通期予想	構成比	増減額	増減率	
■ 日本	2,508	2.2%	1,484	1,446	2,930	2.2%	+421	+16.8%	
■ 北米	52,248	46.5%	32,863	32,067	64,930	48.5%	+12,681	+24.3%	
■ 欧州	54,988	49.0%	37,937	25,023	62,960	47.0%	+7,971	+14.5%	
■ アジア	181	0.2%	117	73	190	0.1%	+8	+4.5%	
■ その他	2,327	2.1%	1,824	1,166	2,990	2.2%	+662	+28.5%	
売上高合計	112,254	100.0%	74,228	59,772	134,000	100.0%	+21,745	+19.4%	
円/米ドル	106.13円	—	109.44円	108.00円	108.72円	—	+2.59円	+2.4%	
円/英ポンド	137.88円	—	152.38円	148.00円	150.19円	—	+12.31円	+8.9%	
円/ユーロ	122.91円	—	131.02円	127.00円	129.01円	—	+6.10円	+5.0%	
円/人民元	15.41円	—	16.76円	16.60円	16.68円	—	+1.27円	+8.2%	



営業利益増減要因 (2022年2月期・通期予想)



▶ 2022年2月期・連結業績 上期実績

▶ 2022年2月期・連結業績 通期予想

▶ **トピックス**

- 生産能力の増強（新工場の建設）
- サステナブル経営の推進

▶ ご参考資料

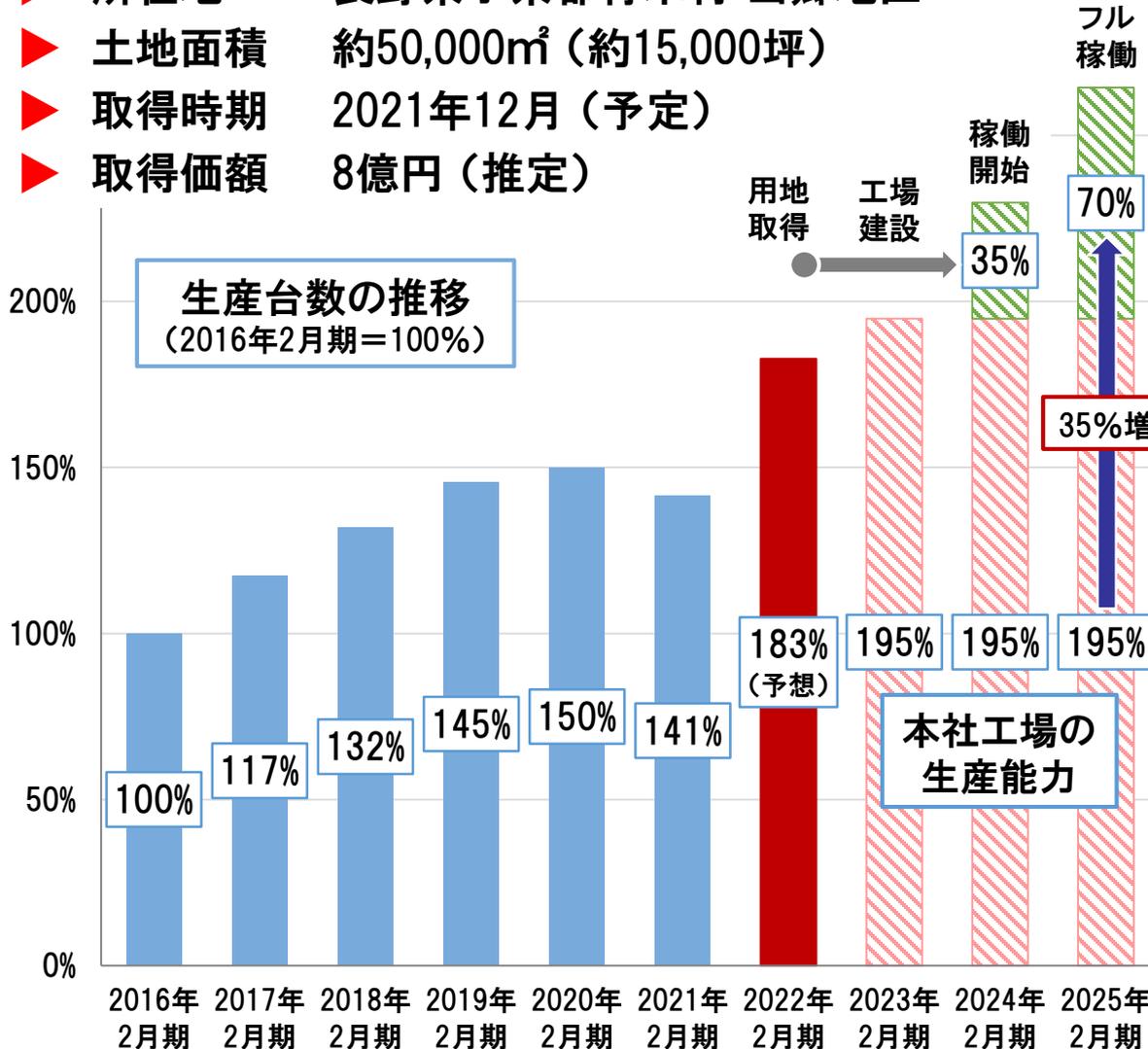
生産能力の強化（長野県小県郡青木村に工場用地を取得 → 建設開始）

【工場用地の概要】

- ▶ 所在地 長野県小県郡青木村 当郷地区
- ▶ 土地面積 約50,000㎡（約15,000坪）
- ▶ 取得時期 2021年12月（予定）
- ▶ 取得価額 8億円（推定）

【新工場の概要】

- ▶ 2024年2月期に稼働開始
- ▶ 現有の本社工場の生産能力に対し、**35%増**を目指す



設備投資計画

本社・第3工場 竣工 (約30億円)

2016年2月



びんぐし試験棟 建設 (約9億円)

2019年5月



TAKEUCHI US 倉庫増築 (約5.4億円)

2020年1月



2018年2月

本社・第1工場 増設 (約3億円)



2019年7月

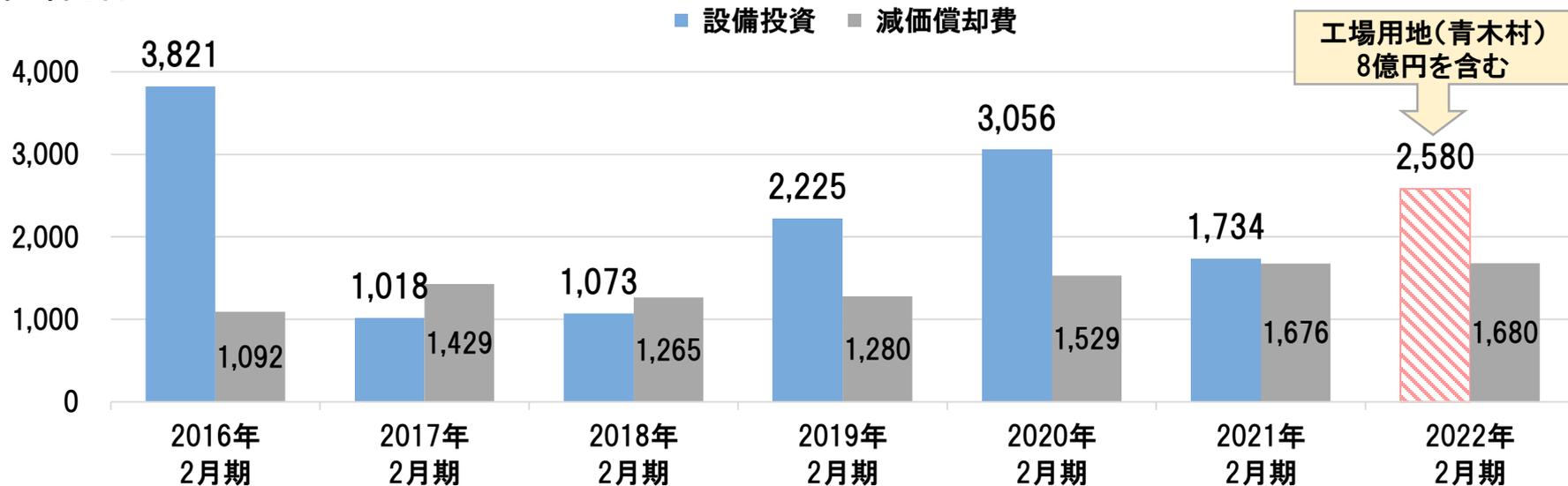
中国・青島工場 増設 (約13億円)



2021年3月

TAKEUCHI US トレーニングセンター (約5.3億円)

単位:百万円



▶ 重要課題(マテリアリティ)の特定

全23項目(P30参照)

当社として、現在または中長期で取り組むべき**重要課題(マテリアリティ)**を特定。
(外部有識者の意見を取り入れつつ、ステークホルダー視点と経営視点の2軸で特定)

▶ 選択と集中 → 目標設定

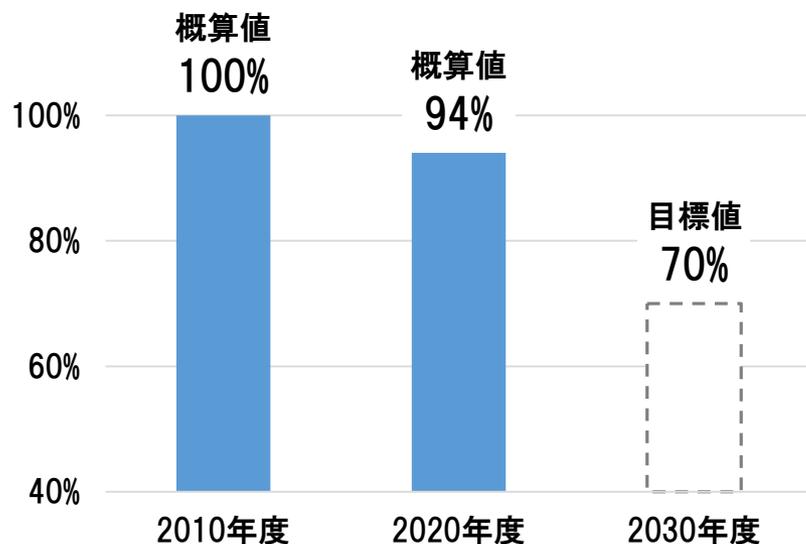
特定したマテリアリティの中から、**優先課題を選定し、以下の目標を設定**

		社会課題	何を	いつまでに	どれだけ・どうする
①	E	気候変動	製品からのCO2排出量	2030年度(2010年度比)	30%削減する
②			① 工場からのCO2排出量 ② 工場で使用する電力	① 2030年度(2015年度比) ② 2021年度中	① 50%削減する ② 再エネで100%調達
③	S	労働安全衛生	1日以上休業を伴う労働災害	毎年度	ゼロ件にする
④		人財育成	1人当たりの研修時間	毎年度	開示する
⑤		ワークライフバランス	育児休業の取得率(男女別)	毎年度	開示する
⑥		児童労働	CSR調達方針の同意書回収率	毎年度	95%以上にする
⑦	G	ダイバーシティ	① 女性取締役 ② 女性管理職比率 (女性管理職数÷女性総数) ③ 子会社の管理職ローカル比率	① 2024年度 ② 2030年度 ③ 毎年度	① 1名選任する ② 男性管理職比率と同率にする ③ 開示する

※1 上記①～⑦の目標は、全部で23項目ある重要課題(マテリアリティ)のうち、12項目に対応しています。
これらの目標に対する実績を毎年度開示し、重要課題の進捗をモニタリングしてまいります。

※2 目標設定を見送った重要課題は、引き続き課題解決に向けた取り組みを推し進め、目標設定の検討を継続します。

▶ 2030年度までに30%削減する（2010年度比）



TB20e (1.9トン)
電池式ミニショベル
2021年7月市場投入

【どのようにして？】

- ① ディーゼルエンジン式建機の環境性能の向上
- ② 電池式建機の開発・製造・販売の拡大

①だけでは30%削減の目標達成は不可能であり、電動化が大前提となる。

【電池式建機の本格普及には、まだ時間を要する】

- ✓ 本体価格の値ごろ感
- ✓ 稼働時間の延長
- ✓ インフラの拡充（充電ステーション等）

【環境意識の高まりにより、ニーズが加速する可能性も】

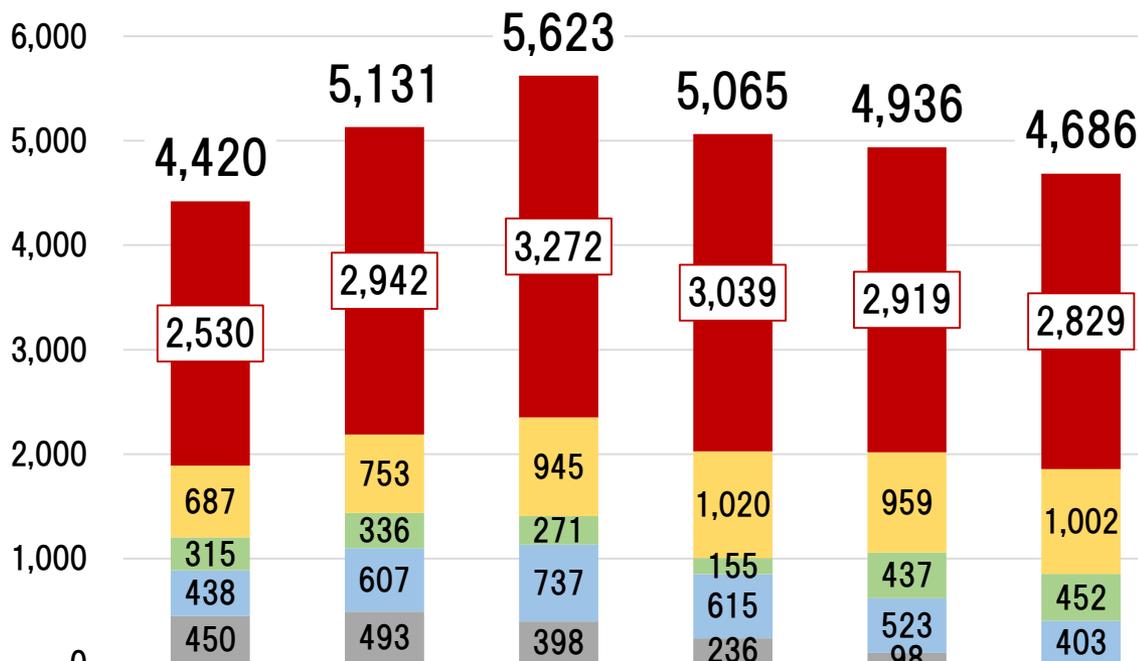
- ✓ 顧客の意識変化
- ✓ 公的補助(購入補助金) and/or 規制(エンジン式NG)

【当社の課題】

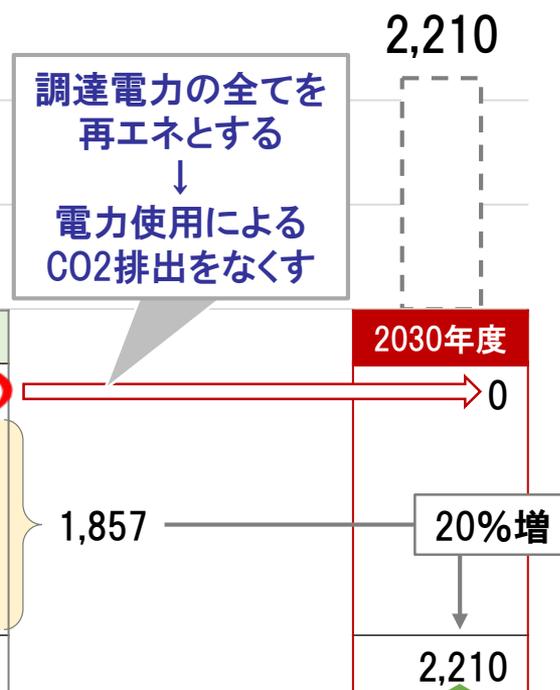
電池式建機のラインナップ拡充に向け、製品開発に取り組む。

工場からのCO2排出削減

- 2030年度までに**50%削減**する（2015年度比）
- 使用する電力の**全てを再生可能エネルギー**で調達する（2021年度中）



単位 t-CO2	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電力	2,530	2,942	3,272	3,039	2,919	2,829
LPG	687	753	945	1,020	959	1,002
軽油	315	336	271	155	437	452
灯油	438	607	737	615	523	403
A重油	450	493	398	236	98	0
排出総量	4,420	5,131	5,623	5,065	4,936	4,686

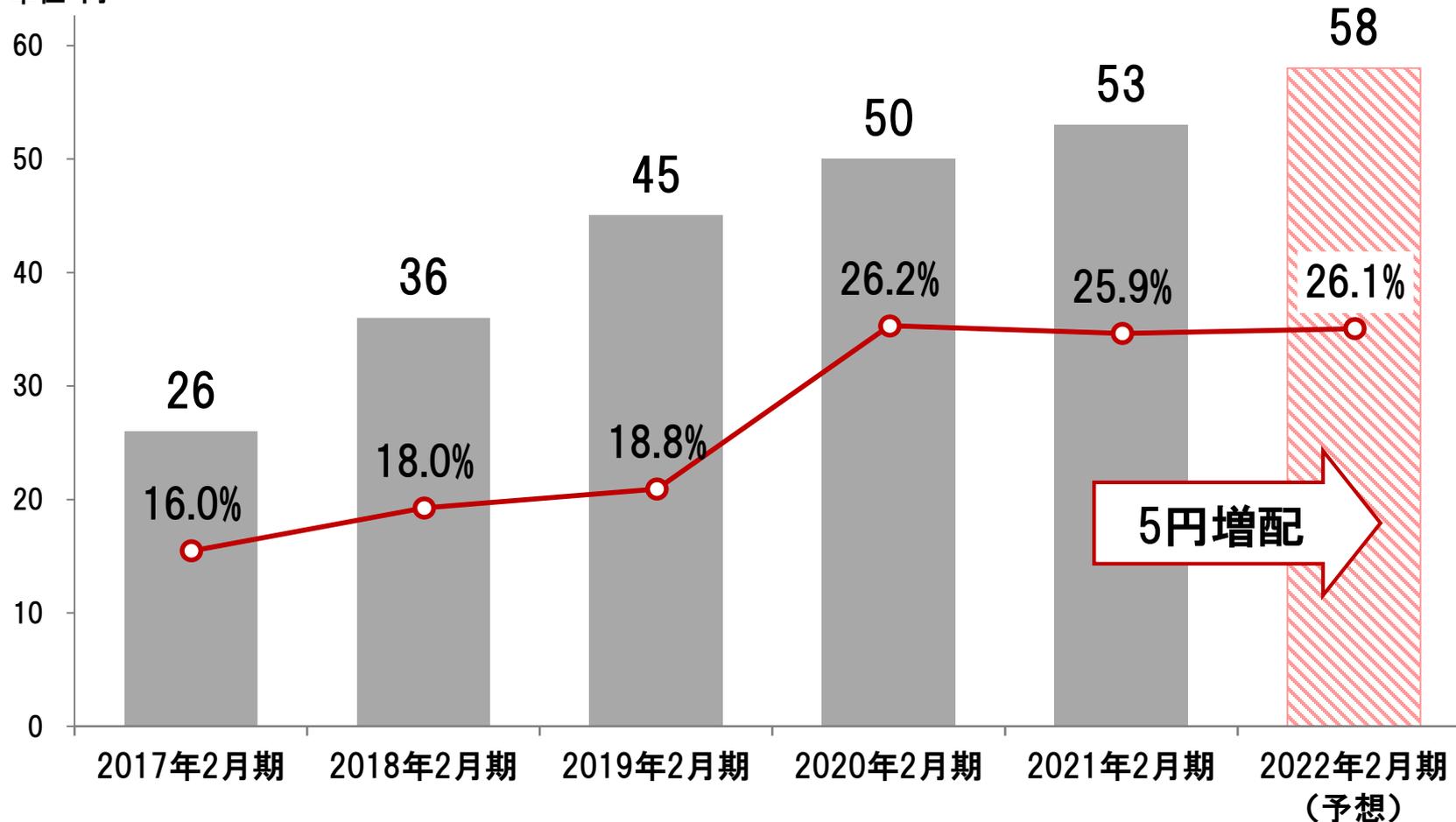


株主還元、連結配当性向

配当方針：経営体質の強化並びに今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。

1株当たり配当金、連結配当性向の推移

単位：円



- ▶ 2022年2月期・連結業績 上期実績
- ▶ 2022年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ トピックス
 - 生産能力の増強（新工場の建設）
 - サステナブル経営の推進
- ▶ **ご参考資料**

創造 豊かな感性をもって、ニーズに応えた商品開発をする。

社是 **挑戦** 夢と若さをもって、より高い目標に向かって果敢に行動する。

協調 和と思いやりの心をもって、調和の取れた社会との共生を図る。

企業理念

世界初から世界の **TAKEUCHI** へ

■ 私たちは、**創造、挑戦、協調**の精神で切磋琢磨し、TAKEUCHIのものづくりを追求します。

■ グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。

■ 一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

会社名	株式会社竹内製作所	
英文社名	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	
代表者	代表取締役社長 竹内敏也	
本社所在地	長野県埴科郡坂城町上平205番地	
設立	1963年8月21日	
決算期	2月末	
資本金	3,632百万円 (2021年2月28日現在)	
売上高(連結)	112,254百万円 (2021年2月期)	
従業員数(連結)	912名 (2021年8月31日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 6432)	
子会社	米国	TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD. (設立 1979年2月)
	英国	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD. (設立 1996年10月)
	仏国	TAKEUCHI FRANCE S.A.S. (設立 2000年6月)
	中国	竹内工程機械(青島)有限公司 (設立 2005年4月)

<主力製品>

ミニショベル・油圧ショベル

- ✓ 当社が世界初のミニショベルを開発、生産開始(1971年9月)
- ✓ ミニショベル
製品質量が6トン未満のもの
- ✓ 油圧ショベル
製品質量が6トン以上のもの

主な用途

- ✓ 住宅建設の基礎工事
- ✓ 水道管、ガス管等の配管工事
- ✓ 公園や庭に木を植える造園工事
- ✓ 老朽化した建物の解体・修復工事



クローラーローダー

- ✓ 当社が世界初のクローラーローダーを開発、生産開始(1986年9月)
- ✓ ミニ/油圧ショベルより移動速度が速く、運搬作業に向く
- ✓ ほとんどが北米需要、北米販売

主な用途

- ✓ ミニショベルで掘削した土砂の運搬
- ✓ 地面の掘削、整地
- ✓ アーム先端のバケット部を交換することで様々な作業が可能



業績推移



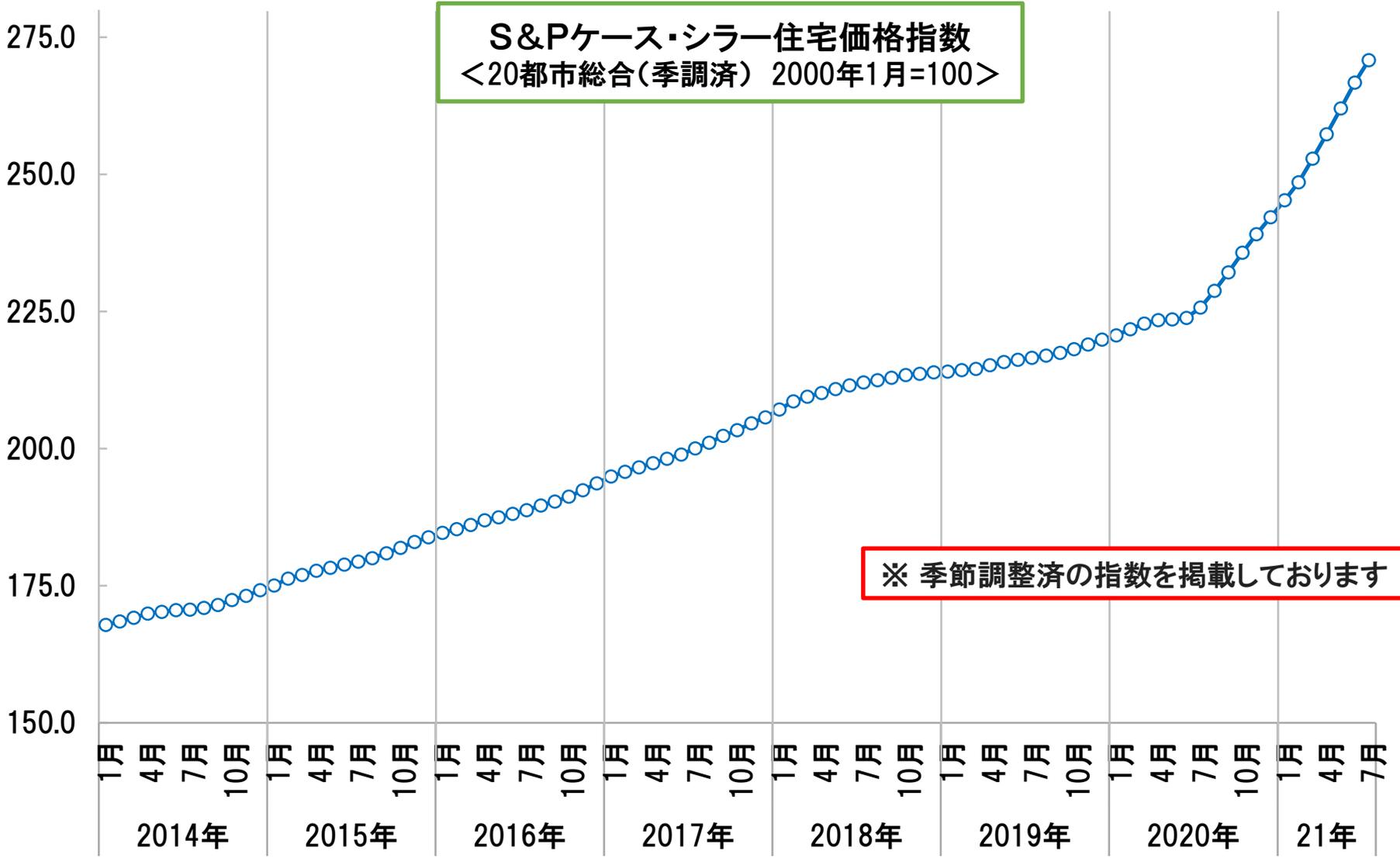
単位:百万円	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期(予想)	
	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	前年増減額
日本	2,093	2,427	940	813	2,508	2,930	+421
北米	39,657	45,360	50,696	53,222	52,248	64,930	+12,681
欧州	37,988	43,467	55,561	60,313	54,988	62,960	+7,971
アジア	760	864	1,000	384	181	190	+8
その他	2,501	2,222	1,977	1,179	2,327	2,990	+662
売上高	83,000	94,342	110,175	115,913	112,254	134,000	+21,745
営業利益	13,404	14,133	15,411	12,649	13,207	14,200	+992
経常利益	11,722	14,033	15,496	12,403	13,298	14,450	+1,151
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,757	9,547	11,391	9,091	9,765	10,600	+834
1株純利益	162.07円	200.20円	238.83円	190.64円	204.78円	222.29円	+17.51円
1株配当金	26.00円	36.00円	45.00円	50.00円	53.00円	58.00円	+5.00円
円/米ドル	108.30円	111.58円	110.06円	109.21円	106.13円	108.72円	+2.59円
円/英ポンド	145.32円	146.80円	145.91円	139.49円	137.88円	150.19円	+12.31円
円/ユーロ ※1	119.55円	128.67円	129.16円	121.46円	122.91円	129.01円	+6.10円
円/人民元	16.40円	16.63円	16.64円	15.82円	15.41円	16.68円	+1.27円
純資産	60,080	68,106	77,180	83,683	89,908		
総資産	82,643	91,422	103,557	108,982	115,525		
自己資本比率	72.7%	74.5%	74.5%	76.8%	77.8%		
ROE ※2	13.5%	14.9%	15.7%	11.3%	11.3%		
ROA ※3	14.7%	16.1%	15.9%	11.7%	11.8%		

	上期実績	下期前提
USD	109.44円	108.00円
GBP	152.38円	148.00円
EUR	131.02円	127.00円
RMB	16.76円	16.60円

※1 為替レートは、12ヶ月間の平均レートを表示

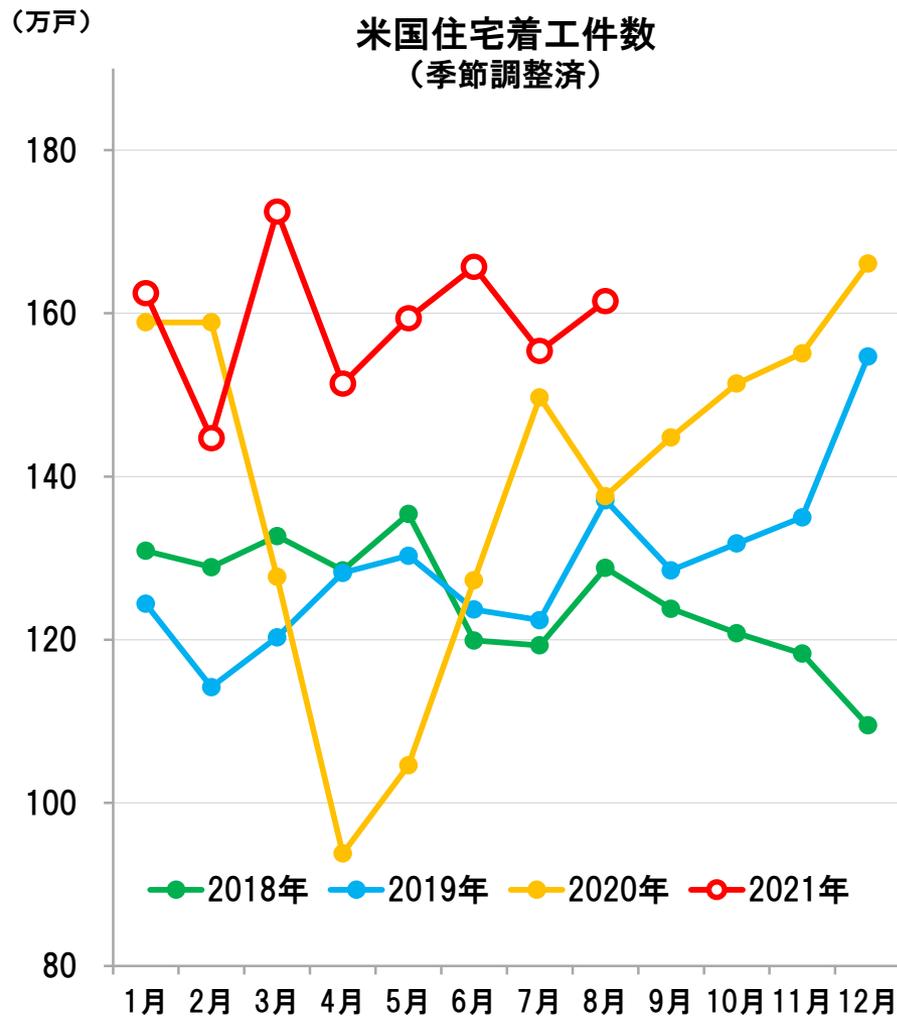
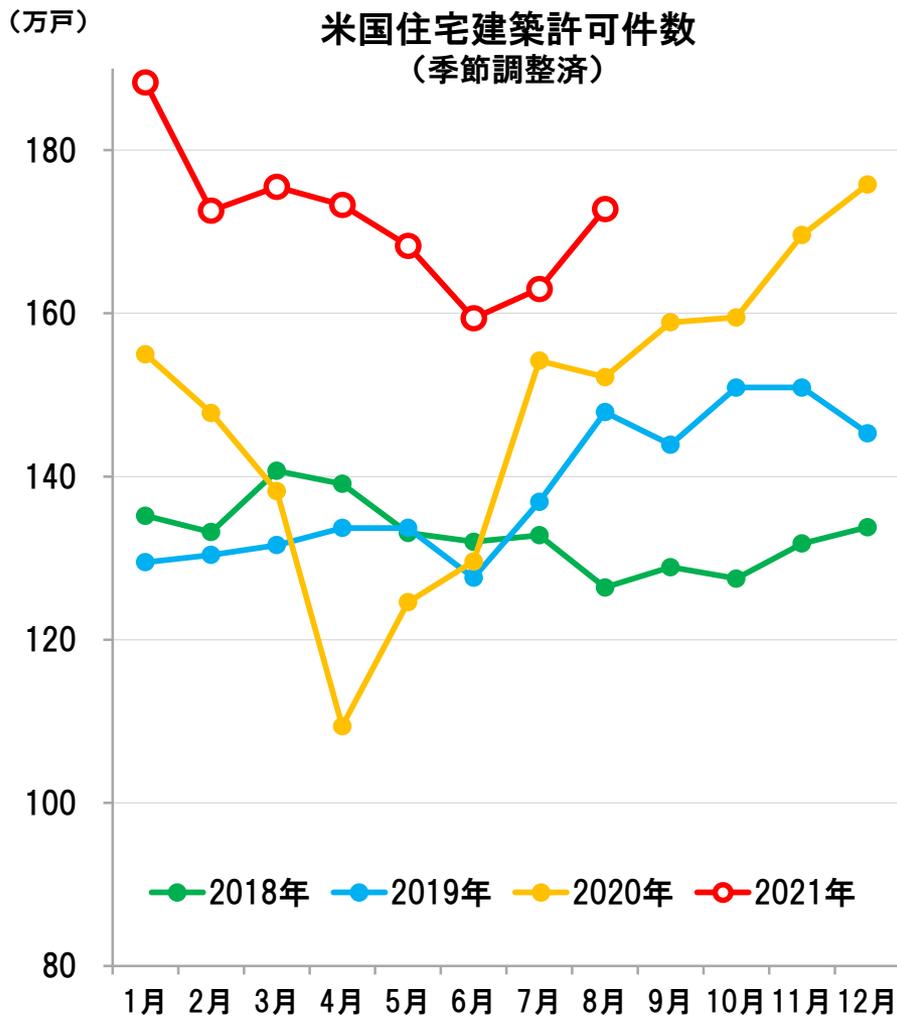
※2 ROE(自己資本当期純利益率) = 当期純利益 ÷ 純資産 × 100 (純資産は期首・期末の平均値)

※3 ROA(総資産経常利益率) = 経常利益 ÷ 総資産 × 100 (総資産は ")



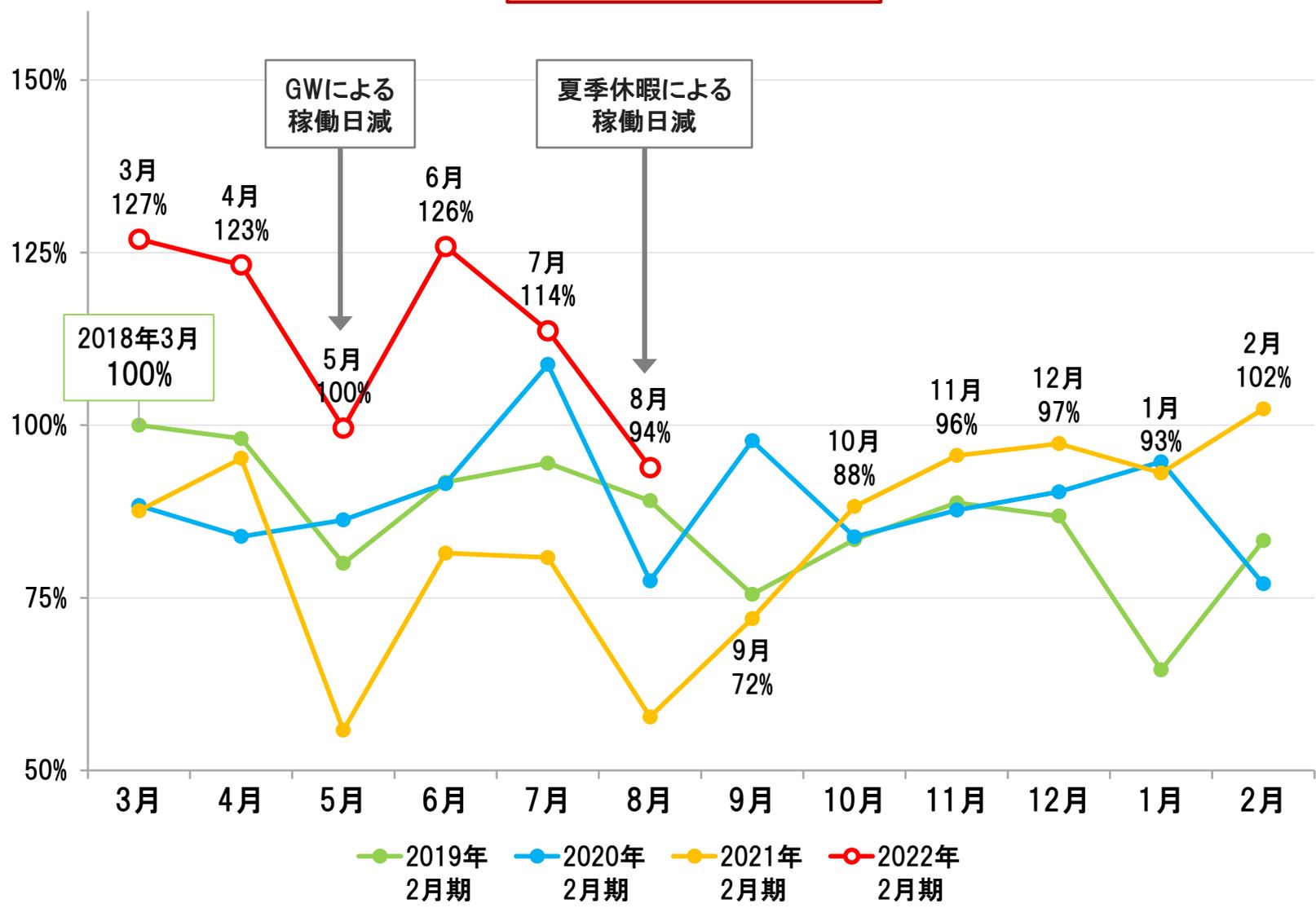
(出所) S&P

➤ コロナ禍により、2020年2月～4月は急激に冷え込んだが、経済活動の再開とともにV字回復を果たした。今後も底堅いと予測。



月別生産台数の推移

2018年3月 = 100%



重要課題(マテリアリティ)一覧

#	E	S	G	SDGs	社会課題	取り組みテーマ	目標
1	○			13	気候変動の抑制	電池式ミニショベルの開発・製造・販売	①
2	○			13		工場のGHG排出の削減	②
3	○			7 13		工場のエネルギー効率向上、再生可能エネルギー利用拡大	②
4	○			12	循環型経済の実現	工場の3R(Reduce, Reuse, Recycle)の取り組み	
5	○			12 13	環境負荷の削減 環境汚染の防止 化学物質管理	環境負荷を抑えた建設機械の開発・製造・販売	①
6	○			6 12		工場の化学物質排出、排水の削減	
7	○			12		SDS(安全データシート)、Reach規制、RoHS指令の対応	
8		○		8	持続可能な街づくり	市場ニーズに細かく応えた製品開発(工事現場の能率向上)	
9		○		11		レジリエントな街づくりに寄与する建設機械の開発・製造・販売	
10		○		8	お客様への責任ある対応	エンドユーザーとのつながり強化(製品・サービス情報の拡充)	
11		○		10 16	人権尊重 適正な労働慣行	雇用差別の撤廃(障がい者雇用など)	
12		○		10 16		ハラスメントの防止(ハラスメント防止教育の実施)	④
13		○		3	労働安全衛生、従業員の健康	労災の撲滅、健康経営の推進	③
14		○		4	人材開発	人財育成の推進	④
15		○		5 8	ワークライフバランスの推進	育児・介護休業、時短勤務等の制度利用推奨	⑤
16		○	○	5 8	女性活躍推進の強化	ダイバーシティ(女性、外国人の活躍推進)	⑦
17		○		4 16	地域の次世代育成	工場見学、講師派遣、自立支援学校との連携	
18	○	○		8 12	環境・社会に配慮した サプライチェーンの構築	CSR調達方針の策定、実行	⑥
19	○	○		8 12		サプライヤーにCSR調達方針の同意書を依頼	⑥
20	○			12		製品廃棄時の解体・回収・リサイクル	
21			○	16	コンプライアンス	法令・規制の遵守、反社会的勢力の排除(教育の実施)	④
22			○	16	コーポレートガバナンス	グローバルガバナンスの強化	
23			○	16	リスクマネジメント	危機管理体制、BCP、情報セキュリティ(IT-BCP)	

お問い合わせ先

株式会社竹内製作所

経営管理部 経営企画課

TEL : 0268-81-1200

FAX : 0268-81-1127

E-mail : ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、業績予想と乖離することがあり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。